

No	感染症(PT)	出典	概要
308	レンサ球菌感染	Xinhuanet 7月24日	ベトナムではブタレンサ球菌に42人が感染し、2人が死亡したため、早急な研究と対策が必要であると農業大臣が発言した。
309	灰白髄炎	ProMED-mail20061003.2830	インドではポリオが流行しており、2006年にこれまで352例が報告された。Uttar Pradeshだけで312例が報告され、Biharでは20例である。ポリオによる死亡は23例となった。
310	感染	ABC Newsletter 2008年1月11日	血液安全・安定供給諮問委員会は、米国保健社会福祉省事務局に対し、安全で効果的な輸血用血液製剤の病原体低減技術(不活化)の早急な開発を優先して進め、開発され次第実施するよう勧告した。病原体低減の効果と安全性を示すエビデンスの蓄積は、今後蔓延する可能性のある感染症に対し広く適応できるセーフガードとして、この技術の導入を保証するという決議を採択した。
311	感染	All Africa.com 2007年2月27日	コートジボワールの保健当局は北部の村で31名が死亡し、他に少なくとも73名が罹患した急性疾患を調査している。2006年12月第3週にDiobala村で人々は頭痛、高熱、頸部および胸痛、呼吸症状を伴う疾患に罹った。調査の結果、10月の初めに村の動物が病気に罹り始め、家禽の90%および約500頭のヤギとヒツジが死亡し、村人は病気の動物を食べたことが明らかとなった。
312	感染	CDC/MMWR 2008; 57(Early Release): 1-3	2007年10月29日、米国Minnesota南東部のブタ処理施設の従業員における原因不明の神経疾患についての報告があり、州保健局と米国CDCが調査中である。2008年1月28日現在、進行性炎症性神経障害症例は12例で、症状はブタ頭部処理に関わったヒトで発生した。原因は特定されていない。
313	感染	FDA/CBER 2007年7月12日	2007年6月19日付けの、ヒト細胞、組織、ならびに細胞および組織由来製品(HCT/PS)、ドナースクリーニングと検査、ならびに関連するラベリングの最終規則に関するQ&A。FDAがこの最終規則を公表したのはなぜか、最終規則で変化した点は何かまたドナー適格最終規則とどのように異なるか、胎児ドナーのスクリーニングと検査は必要か、ドナーの検体採取時期はいつか、等の質問とそれに対する回答。
314	感染	J Hosp Infect 2007; 65: 15-23	outbreak databaseとPubMed検索、および関連出版物の参考文献検索により、1990年以降の汚染された物質に関連した院内感染(128報、患者2250名)について調査した。血液製剤およびヘパリン生理食塩液の汚染が最も報告数が多かった。病原体は血液製剤ではA型肝炎ウイルス、Yersinia enterocolitica、セラチアが、その他ではBurkholderia cepaciaやエンテロバクターが多かった。64のアウトブレイクでmulti-doseバイアルが使用されていた。
315	感染	ProMED-mail20061013.2937	インドネシアで2006年10月6日までに下痢および嘔吐を引き起こす疾患に238例が罹患し、5例が死亡した。現在DPT Limbangan Community Health Centerで患者124例が治療中である。これら症例は水源に関連している可能性がある。E. Coliが疑われるが、原因は確認されていない。
316	感染	ProMED-mail20061228.3637	インドネシア保健当局はジャカルタでここ2ヶ月間に高熱が特徴の原因不明の疾患により死亡した22例を調査している。検体はCDCセンターに送られ、検査中である。死亡例の大部分は40歳以上で、中部ジャカルタのSt.Carolus付近の中流階級住民で、2006年10月から2006年11月27日にかけて報告された。中毒の可能性もある。
317	感染	ProMED-mail20070114.0188	アリゾナでバレー熱(コクシジオイデス症)が流行している。2005年に比べ2006年は56%増加した。保健当局によると5493例が診断されたが、未報告症例数は何千例もあるとのことである。増加の原因は確定されていないが、2005年の湿った冬に続き、2006年には乾燥した月が多かったことによると指摘されている。
318	感染	ProMED-mail20070118.0230	台湾ではヒストプラズマ症はまれであり、この10年間で2~3の輸入症例が報告されているだけである。台湾で初めての固有の伝染性ヒストプラズマ症例を報告する。2005年11月に衰弱のため救急部に送られてきた78歳のリウマチ様関節炎患者で、メソトレキセート誘起性血小板減少症と仮に診断され入院した。骨髓検査の結果、ヒストプラズマ症が疑われた。培養後、PCRアッセイによりHistoplasma capsulatumと同定された。